

# **WM320 User Guide**

## **Windows 版**

**2013 年 11 月**

# 目次

|  |    |
|--|----|
| はじめに .....   | 1  |
| ご利用いただくにあたって .....                                 | 1  |
| 動作環境.....  | 1  |
| 安全上のご注意 .....                                      | 2  |
| 医用電気機器近くでの取り扱いについて .....                           | 6  |
| 取り扱い上のご注意 .....                                    | 7  |
| 共通のお願い .....                                       | 7  |
| 本製品についてのお願い .....                                  | 7  |
| USIM カードについてのお願い .....                             | 8  |
| 注意.....  | 8  |
| 1. 各部の名称と機能.....                                   | 9  |
| 1.1 LED ステータスランプ表示の見方.....                         | 9  |
| 2. USIM カードの準備.....                                | 10 |
| 2.1 取り付けかた .....                                   | 10 |
| 2.2 取り外しかた .....                                   | 10 |
| 3. セットアップ(Windows) .....                           | 11 |
| 3.1 WM320 Data Connection Manager をインストールする.....   | 12 |
| 3.2 WM320 Data Connection Manager を確認する .....      | 14 |
| 3.3 WM320 Data Connection Manager をアンインストールする..... | 16 |
| 4. データ通信用ユーティリティソフト (Windows).....                 | 18 |
| 4.1 WM320 Data Connection Manager の画面構成 .....      | 18 |
| 4.1.1 状態表示エリアの説明 .....                             | 19 |
| 4.2 WM320 Data Connection Manager の起動.....         | 20 |
| 4.3 WM320 Data Connection Manager の終了.....         | 20 |
| 4.4 接続設定.....                                      | 21 |
| 4.4.1 プロファイル設定 .....                               | 21 |
| 4.4.2 プロファイル詳細設定 .....                             | 22 |
| 4.4.3 接続方式 .....                                   | 23 |
| 4.5 接続・切断.....                                     | 24 |
| 4.6 PIN 管理 .....                                   | 25 |
| 4.6.1 PIN 有効 .....                                 | 25 |
| 4.6.2 PIN 無効 .....                                 | 26 |
| 4.6.3 PIN 変更 .....                                 | 26 |
| 4.7 ネットワーク設定 .....                                 | 27 |
| 4.7.1 ネットワーク検索 .....                               | 27 |
| 4.7.2 3G/GPRS 設定 .....                             | 28 |

---

|  |    |
|--|----|
| 5. 付録.....                               | 29 |
| 5.1 主な仕様.....                            | 29 |
| 5.2 輸出管理規制 .....                         | 30 |
| 5.3 CE Marking .....                     | 30 |
| 5.4 FCC Regulations.....                 | 31 |
| 5.5 RF Exposure Information(SAR).....    | 32 |
| 5.6 WEEE/RoHS Compliance Statement ..... | 33 |
| 5.7 知的財産権 .....                          | 33 |

---

# はじめに

このたびは、データ通信専用機種 WM320(以下、本製品)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご利用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。

## ご利用いただくにあたって

- ・ 本端末は無線を利用しているため、トンネル、地下、建物の中など電波の届かない所や、屋外でも電波の弱い所、サービスエリア外ではご利用になれません。また、高層ビル・マンション等の高層階で見晴らしのよい場所であってもご利用にならない場合があります。
- ・ 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、周りの方の迷惑にならないようご使用ください。
- ・ 海外でご利用いただく場合は、事前にご契約先のお問い合わせ窓口へ確認してください。
- ・ 本書および本書に記載された製品の使用によって発生した損害、およびその回復に要する費用については、当社は一切の責任を負いません。

## 動作環境

|         |                            |                         |
|---------|----------------------------|-------------------------|
| 対応 OS   | Windows 8.1 <sup>®</sup>   | 日本語版                    |
|         | Windows 8 <sup>®</sup>     | 日本語版                    |
|         | Windows 7 <sup>®</sup>     | 日本語版(Service Pack 1 以降) |
|         | Windows Vista <sup>®</sup> | 日本語版(Service Pack 2 以降) |
|         | Windows XP <sup>®</sup>    | 日本語版(Service Pack 3 以降) |
|         | Mac OS X 10.5~10.8         | 日本語版(Intel)             |
| 必要なメモリ  | Windows 8.1 <sup>®</sup>   | 推奨 1GB 以上               |
|         | Windows 8 <sup>®</sup>     | 推奨 1GB 以上               |
|         | Windows 7 <sup>®</sup>     | 推奨 1GB 以上               |
|         | Windows Vista <sup>®</sup> | 推奨 1GB 以上               |
|         | Windows XP <sup>®</sup>    | 推奨 512MB 以上             |
|         | Mac OS X 10.5~10.8         | 推奨 512MB 以上             |
| ハードディスク | 50MB 以上                    |                         |
| インタフェース | USB2.0                     |                         |




- ・ 上記の環境以外では、動作しない場合があります。また、上記に該当する場合でも、パソコン本体・接続されている周辺機器、使用するアプリケーションなど、お客様がご利用の環境によっては、正常に動作しない場合があります。
- ・ 変換アダプターや USB ハブ(モニタやキーボードなどにある USB ポートを含む)などを經由しての動作は保証いたしかねます。
- ・ OS のアップグレードからの動作は保証いたしかねます。

# 安全上のご注意

この「安全上のご注意」は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための内容を記載しています。安全にお使いいただくために必ずお読みください。






次の表示の区分は、表示内容を守らずに誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しております。

## 表示記号の説明






|   |   |
|---|---|
|  <b>危険</b> | この表示は「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容」を示しています。     |
|  <b>警告</b> | この表示は「死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。              |
|  <b>注意</b> | この表示は「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」を示しています。 |

次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

## 図記号の説明

|  |  |
|--|--|
| <br>禁止     | 本製品の取り扱いにおける禁止事項(してはいけないこと)を示しています。                          |
| <br>分解禁止  | 本製品を分解すると感電などの傷害を負うおそれがあるので、分解してはいけないことを示しています。              |
| <br>水濡れ注意 | 本製品を水に濡らすなどして使用すると漏電による感電や発火するおそれがあるので、水に濡らしてはいけないことを示しています。 |
| <br>濡れ手禁止 | 本製品を濡れた手で扱うと感電するおそれがあるので、濡れた手で触ってはいけないことを示しています。             |
| <br>指示    | 本製品の取り扱いに関する指示事項を示しています。                                     |






 **危険**

|   |  |
|---|--|
|    | <p>直射日光が当たる場所、炎天下の車内、暖房器具のそばなど、高温になる所での使用や、放置はしないでください。</p> <p>発熱、発火、機器の変形や故障の原因となります。また、本製品が高温になり、やけどの原因になる可能性があります。</p>  |
|    | <p>高精度な電子機器の近くでは使用しないでください。</p> <p>電子機器(心臓ペースメーカー・補聴器・その他医用電気機器・火災報知器・自動ドアなど)の動作に影響を及ぼすおそれがあります。心臓ペースメーカーやその他医用電気機器をお使いの場合は、電波による影響について各機器メーカー、もしくは販売会社にご相談ください。</p> |
|    | <p>分解、改造をしないでください。</p> <p>火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。</p> <p>本製品の改造は電波法に違反します。</p>   |
|    | <p>濡れた手で触らないでください。</p> <p>感電や故障の原因となります。</p>   |
|  | <p>浴室などで使用したり、水の中につけたりしないでください。</p> <p>発熱、発火、感電や故障の原因となります。</p> <p>コップのそばなど、液体がこぼれるおそれがある場所では使用しないでください。</p> <p>液体がこぼれて濡れると、発熱、発火、感電や故障の原因となります。</p>                 |

 **警告**

|   |   |
|---|---|
|    | 高所から落下させる、投げつける、踏みつけるなど強い衝撃を与えないでください。<br>機器の故障、火災、本人や他の人のけがの原因となります。                                     |
|    | USB コネクタに導通性異物を接触させないでください。また、すき間から異物を入れないでください。<br>発熱、発火、感電や故障の原因となります。                                  |
|    | ガソリンスタンドなど引火、爆発のおそれがある場所では、使用しないでください。<br>爆発や火災の原因となります。  |
|    | 電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器にいれないでください。<br>発熱、発火、感電や故障の原因となります。  |
|    | 必ず専用の機器をご使用ください。<br>指定以外の機器を使用すると、発熱、発火、破裂、故障の原因となります。  |
|    | 車両の運転中に本製品を使用しないでください。<br>交通事故の原因となります。   |
|   | 航空機内や病院など、使用を禁止されている場所では使用しないでください。<br>電子機器や医療機器に影響を及ぼすおそれがあり、事故の原因となります。                                 |
|  | 長時間使用しない場合、本製品をパソコンから取り外してください。<br>感電、火災、故障の原因となります。  |
|  | 煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態には、すぐに本製品をパソコンから取り外してください。<br>そのまま使用し続けると、発熱、発火の原因となります。異常に気づいたときは、ただちにご使用をお止めください。 |
|  | 内部に水などが入った場合には、ただちにご使用をお止めください。<br>そのまま使用し続けると、感電や故障の原因となります。   |

 **注意**





|   |   |
|---|---|
|  | ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。<br>落下して、けがや故障の原因となります。                        |
|  | 本製品、USIM カードに無理な力を加えないでください。<br>故障、けがの原因となります。                                  |
|  | お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。<br>異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。    |
|  | 車両の電子機器に影響が出る場合は使用しないでください。<br>本製品を自動車内で使用すると、まれに車両の電子製品に影響を与え、安全走行を損なう恐れがあります。 |
|  | 小さなお子様の手の届かない場所に保管してください。<br>USIM カードを間違えて飲み込むなど、事故やけがの原因となります。                 |



# 医用電気機器近くでの取り扱いについて

本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」(電波環境協議会)の内容を参考にしたものです。



|   |  |
|---|--|
|  <p>指示</p>   | <p>医療機関などでは次のことを守って使用してください。</p> <p>手術室、集中治療室(ICU)及び冠状動脈疾患監視病室(CCU)には本製品を持ち込まないでください。</p> <p>病棟内では、パソコンの電源を切ってください。</p> <p>ロビーなど本製品の使用を許可された場所であっても、付近に医用電気機器がある場合は、パソコンの電源を切ってください。</p> <p>医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。</p> |
|  <p>指示</p>  | <p>植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している場合は、装着部から本製品を 22cm 以上離して携行および使用してください。</p> <p>電波により植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。</p>  |
|  <p>指示</p> | <p>満員電車の中など混在した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している可能性がありますので、パソコンの電源を切るようにしてください。</p> <p>電波により植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型細動器の作動に影響を与える場合があります。</p>  |
|  <p>指示</p> | <p>自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。</p> <p>電波により医用電気機器の動作に影響を与える場合があります。</p>   |

# 取り扱い上のご注意

## 共通のお願い

- ・ お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。  
アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- ・ 端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。  
端子が汚れていると接触が悪くなり、電源がさかれる原因となりますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- ・ エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。  
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- ・ 本製品に無理な力がかからないよう使用してください。  
多くのものが詰まった荷物の中に入れてたり、衣類のポケットに入れて座ったりすると、内部基盤などの破損、故障の原因となります。

## 本製品についてのお願い

- ・ 極端な高温または低温、多湿の環境、直射日光のあたる場所、ほこりの多い場所は避けてください。
- ・ 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- ・ 本製品を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。  
故障、破損の原因となります。
- ・ パソコンに USB コネクタを接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。  
故障、破損の原因となります。
- ・ 移動するときは、本製品をパソコンから取り外してください。  
故障、破損の原因となります。
- ・ 使用中、本製品は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

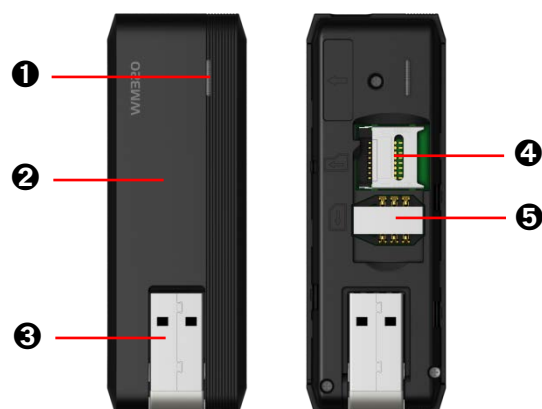
## USIM カードについてのお願い

- ・ USIM カードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- ・ IC 部分(金属面)はいつもきれいな状態でご使用ください。
- ・ お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。
- ・ IC を傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。  
データの消失、故障の原因となります。
- ・ USIM カードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。  
故障の原因となります。
- ・ USIM カードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。  
故障の原因となります。
- ・ USIM カードにラベルやシールなどを貼った状態で、本製品に取り付けしないでください。  
故障の原因となります。

## 注意

- ・ 改造された本製品は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。  
本製品は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク」が本製品の銘版シールに表示されております。本製品のねじを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。

# 1. 各部の名称と機能



- ① LED ステータスランプ**  
 本製品の状態などを表示
- ② カバー**  
 USIM カードを保護するためのカバー
- ③ USB コネクタ**  
 パソコンとの接続端子
- ④ メモリカードスロット**  
 メモリカードを取り付ける個所  
※本製品では使用できません。
- ⑤ USIM カードスロット**  
 USIM カードを取り付ける個所

## 1.1 LED ステータスランプ表示の見方

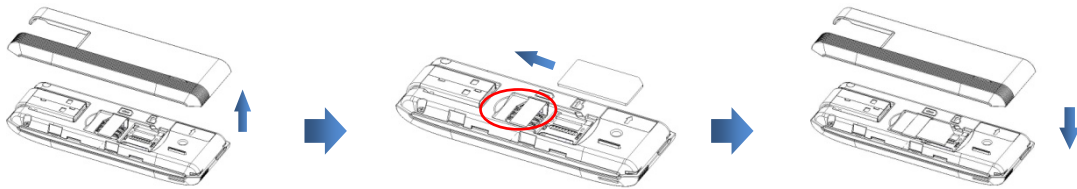
| 本端末の状態      |             | LED ステータスランプ |
|-------------|-------------|--------------|
| 電源 OFF      |             | 消灯           |
| 圏外          |             | 赤点滅          |
| PIN1        | PIN1 ロック    | 赤点滅          |
|             | PIN1 入力待ち   | 赤点滅          |
| USIM カード未挿入 |             | 赤点滅          |
| 待機状態        | HSDPA/HSUPA | ゆるやかな青点滅     |
|             | W-CDMA      | ゆるやかな紫点滅     |
|             | GPRS        | ゆるやかな黄点滅     |
| 接続状態        | LTE         | 緑点灯          |
|             | HSDPA/HSUPA | 青点灯          |
|             | W-CDMA      | 紫点灯          |
|             | GPRS        | 黄点灯          |

## 2. USIM カードの準備

USIM カードは電話番号などのお客様の情報が記録されている IC カードです。本製品を使用するためには USIM カードを本製品に取り付けてください。本製品に取り付けないと、データ通信などを利用することができません。

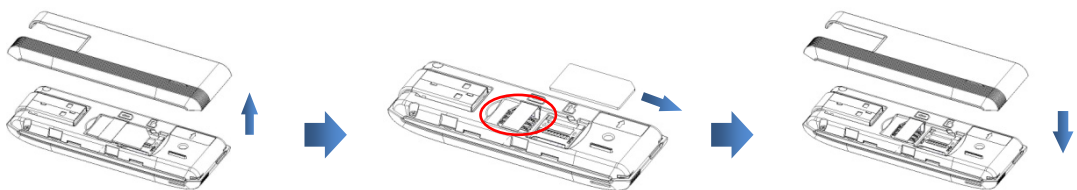
### 2.1 取り付けかた

1. 本体カバーを取り外します。
2. USIM カードスロットに金色の端子部分を下に向けて矢印の方向へ挿入します。  
挿入する際は、挿入方向(切り欠きの向き)にご注意ください。
3. 本体カバーを取り付けます。



### 2.2 取り外しかた

1. 本体カバーを取り外します。
2. USIM カードスロットから USIM カードを取り外します。
3. 本体カバーを取り付けます。



- ・ USIM カードの IC 部分に触れたり、傷をつけたりしないようにご注意ください。
- ・ USIM カードを無理に取り付けたり、取り外さないでください。故障の原因となります。
- ・ USIM カードを逆向きに挿入すると故障の原因となります。
- ・ 取り外した USIM カードはなくさないようにご注意ください。
- ・ パソコンに本製品が接続された状態で USIM カードを取り付けたり、取り外さないでください。故障の原因となります。

## 3. セットアップ(Windows)

---

本製品はゼロインストール機能を搭載しているため、初めて本製品をパソコンに接続した際、インストーラが自動的に起動し、データ通信用ユーティリティソフト(WM320 Data Connection Manager)のインストールを行います。

- ・ インストールを行う時は、OS を起動してから本製品をパソコンに取り付けてください。
- ・ インストール中はパソコンから本製品を取り外さないでください。インストールが正常に行われず、またシステムがダウンするなどの異常をおこす場合があります。
- ・ インストール／アンインストールは管理者権限で実施してください。
- ・ ご利用のパソコンによっては、インストールに数分かかる場合があります。
- ・ インストールを開始する前に起動中のアプリケーションは終了してください。
- ・ パソコンがスリープまたは休止状態になるとインストールが正常に完了しませんので、ご注意ください。

## 3.1 WM320 Data Connection Manager をインストールする

1. パソコンの電源を入れ、OS を起動します。
2. 本製品をパソコンの USB ポートに接続します。

ゼロインストール機能により、本製品を接続するための WM320 Data Connection Manager のセットアップ画面が自動で表示されます。パソコンの設定によっては、「自動再生」画面が表示されることがあります。画面が表示されたら、「WM320\_DataConnectionManager.exe の実行」を選択してください。

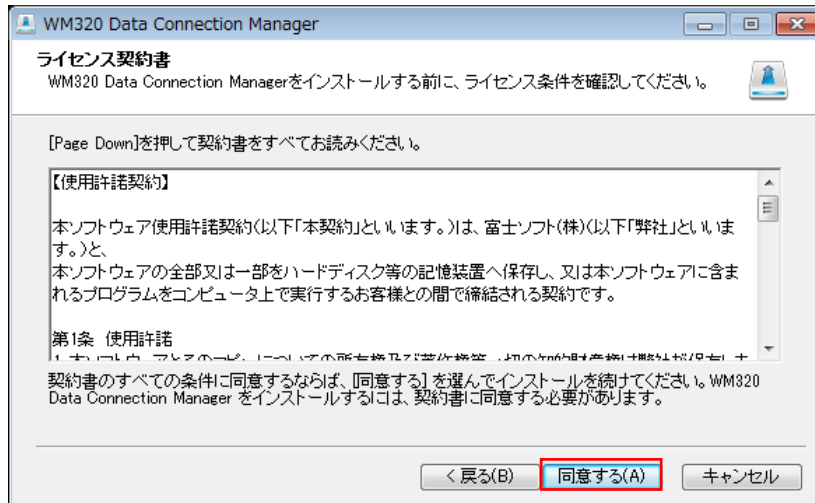


※Windows8 をお使いの場合、本製品を接続すると「タップして、このディスクに対して行う操作を選んでください」画面が表示される場合があります。画面が表示されたら、クリックまたはタップして下さい。

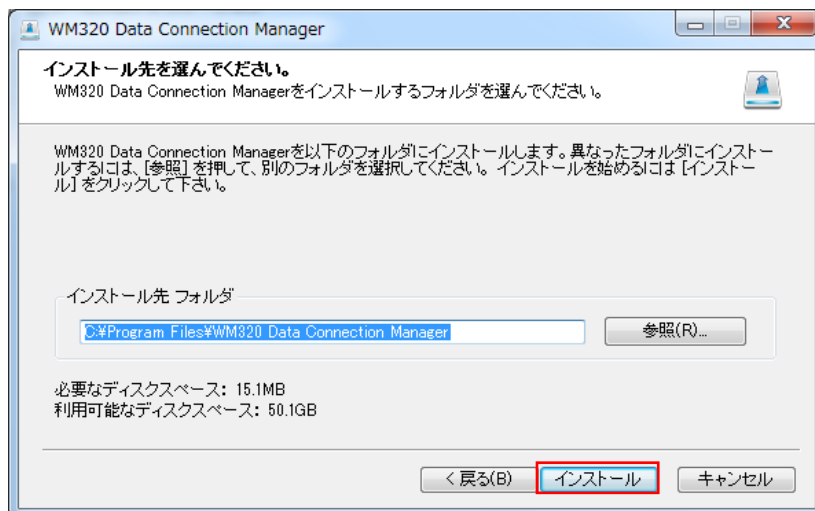
3. 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示された場合、「はい」をクリックします。  
※Windows XP をお使いの場合、「ユーザーアカウント制御」画面は表示されません。
4. WM320 Data Connection Manager のインストールを開始します。「次へ」をクリックします。



5. 「ライセンス契約書」をご確認の上、「同意する」をクリックします。



6. インストール先を選択し、「インストール」をクリックします。



7. 以下の画面が表示されるとインストールが完了します。「完了」をクリックしてください。 自動で WM320 Data Connection Manager が起動します。





## 3.2 WM320 Data Connection Manager を確認する

WM320 Data Connection Manager がパソコンにインストールされているか確認します。

1. [スタート] → [コントロールパネル] → [システムとセキュリティ]の順にクリックします。

※Windows Vista の場合

[スタート] → [コントロールパネル] → [システムとメンテナンス]の順にクリックします。

※Windows XP の場合

[スタート] → [コントロールパネル] → [パフォーマンスとメンテナンス] → [システム]の順にクリックします。

2. [デバイスマネージャ]をクリックします。

※Windows Vista の場合

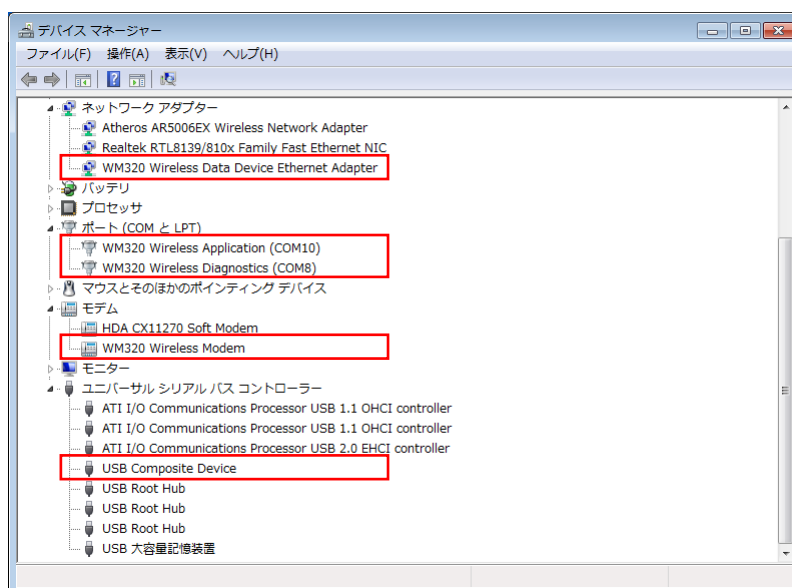
[デバイスマネージャ] → [続行]をクリックします。

※Windows XP の場合

[ハードウェア]タブをクリック→[デバイスマネージャ]をクリックします。

### 3. インストールされた通信設定用ファイル(ドライバ)を確認する。

「ネットワークアダプター」「ポート(COMとLPT)」「モデム」「ユニバーサルシリアルバスコントローラー」の下にデバイス名が表示されているか確認してください。



| デバイスの種類   | デバイス名   |
|---|---|
| ネットワークアダプター   | WM320 Wireless Data Device Ethernet Adapter                     |
| ポート(COMとLPT)  | WM320 Wireless Application<br>WM320 Wireless Diagnostics        |
| モデム   | WM320 Wireless Modem  |
| ユニバーサルシリアルバスコントローラー<br>※Windows XP では以下の表示となります。<br>USB(Universal Serial Bus)コントローラ | USB Composite Device<br>※Windows XP では以下の表示となります。<br>USB 複合デバイス |

※COM ポート番号は、お使いのパソコンによって異なる場合があります。

### 3.3 WM320 Data Connection Manager をアンインストールする

1. [スタート] → [コントロールパネル] → [プログラム] → [プログラムのアンインストール]を順にクリックします。

※Windows XP の場合

[スタート] → [コントロールパネル] → [プログラムの追加と削除]を順にクリックします。

2. [WM320 Data Connection Manager] を選択し、「アンインストールと変更」をクリックします。

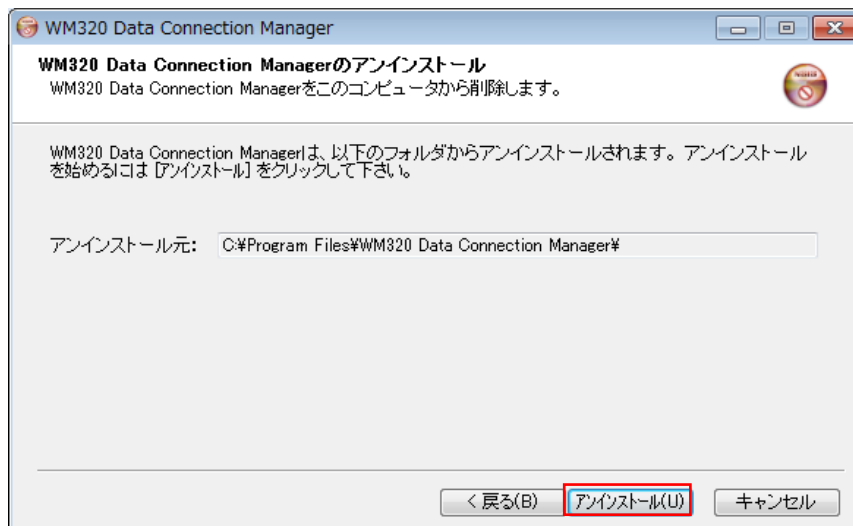
※Windows XP の場合

[WM320 Data Connection Manager] を選択し、「変更と削除」をクリックします。

3. [次へ]をクリックします。



4. [アンインストール]をクリックします。



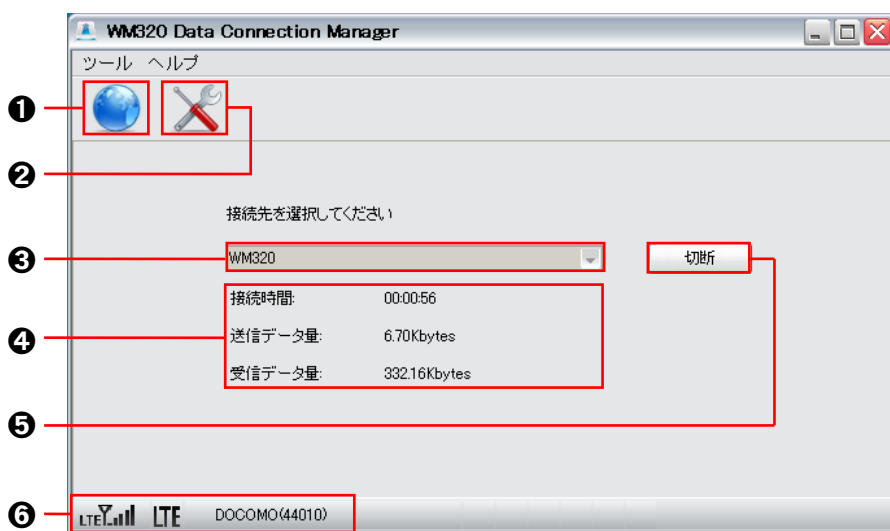
5. [完了]をクリックします。



## 4. データ通信用ユーティリティソフト (Windows)

本製品はデータ通信用ユーティリティソフトの WM320 Data Connection Manager がインストールされます。本ソフトを利用して Windows 上でデータ通信が利用できます。

### 4.1 WM320 Data Connection Manager の画面構成



#### ① 接続

メイン画面を開きます。

#### ② 環境設定

接続設定、PIN 管理、ネットワーク設定の画面を開きます。

#### ③ プロファイル名

接続先のプロファイル名を表示します。

#### ④ 通信情報

ネットワーク接続を行っている間、以下の情報を表示します。

- ・接続時間
- ・送信データ量
- ・受信データ量

#### ⑤ 接続/切断ボタン

ネットワークへの接続および切断時、このボタンをクリックします。

#### ⑥ 状態表示エリア

本製品の状態を表示します。




## 4.2 WM320 Data Connection Manager の起動

1. 本製品をパソコンに接続すると自動起動します。

## 4.3 WM320 Data Connection Manager の終了

1. メイン画面の上端にある「×」をクリックします。

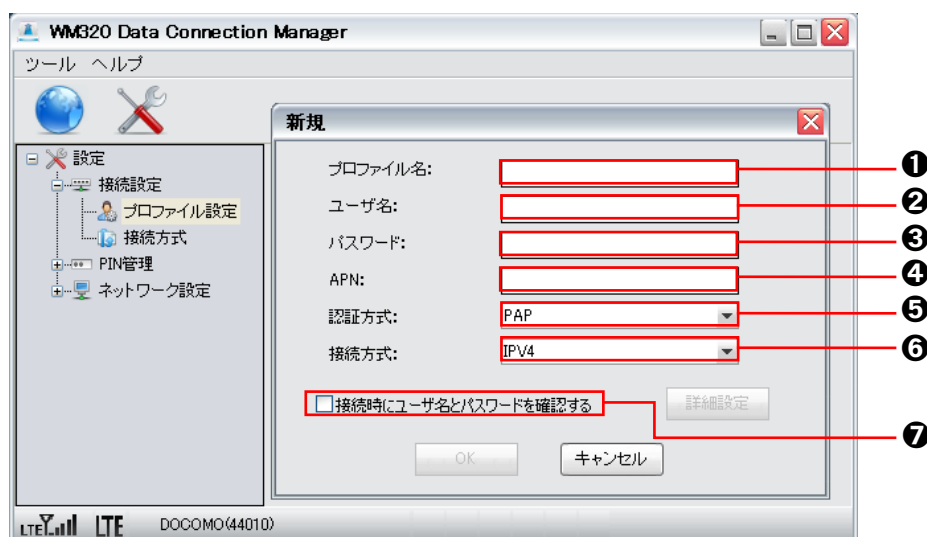
## 4.4 接続設定

1.  をクリックします。
2. 「設定」→「接続設定」をクリックします。

### 4.4.1 プロファイル設定

データ通信を利用する為のプロファイル設定を行います。プロファイルの設定がされていない場合、データ通信が利用できません。必ず本設定を行ってください。

1. 設定画面で「接続設定」→「プロファイル設定」をクリックします。
2. プロファイル設定画面で「新規」をクリックします。
3. プロファイルの設定を行います。



- 1 プロファイル名**  
任意のプロファイル名を入力します。  
プロファイル名は最大「半角 64 文字」「全角 32 文字」まで入力できます。
- 2 ユーザ名**  
事業者より提供されているユーザ名を入力します。  
ユーザ名は最大「半角 64 文字」まで入力できます。
- 3 パスワード**  
事業者より提供されているパスワードを入力します。  
パスワードは最大「半角 64 文字」まで入力できます。
- 4 APN**  
接続先の APN を入力します。  
APN は最大「半角 100 文字」まで入力できます。
- 5 認証方式**  
事業者より指定される認証方式を「PAP」「CHAP」の 2 種類から選択します。
- 6 接続方式**  
接続するプロバイダなどが対応する接続方式を「IPV4」「IPV6」「IPV4V6」「PPP」の 4 種類から選択します。
- 7 接続時にユーザ名とパスワードを確認する**  
この項目にチェックを入れると接続毎にアカウントの確認画面が表示されます。



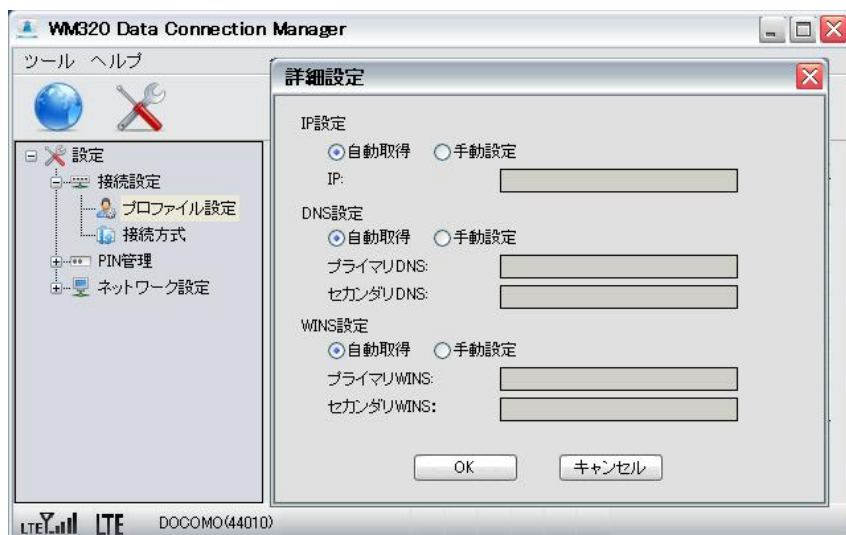
4. 「OK」をクリックします。
5. 作成したプロファイルを選択して「接続先設定」をクリックします。

- ・ 事業者から指定された値を設定してください。設定を間違えると正しく接続できません。
- ・ 「OK」をクリックしないと設定が変更されません。必ずクリックしてください。
- ・ 複数のプロファイルの作成が可能です。指定するプロファイルで接続する際は、プロファイルを選択し、「接続先設定」を行ってください。
- ・ 各設定の最大文字数は WM320 の仕様であり、各事業者が指定する文字数の上限とは異なります。

## 4.4.2 プロファイル詳細設定

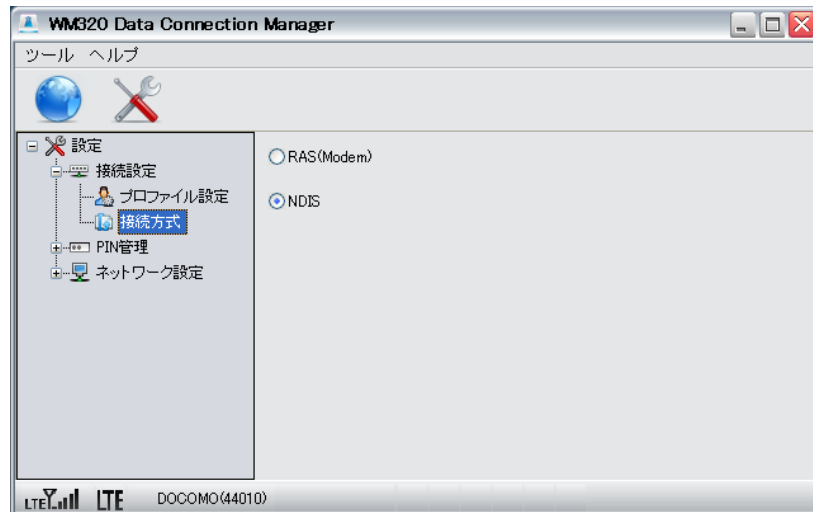
接続方式:RAS(Modem)を使用する場合、IP アドレス、DNS サーバアドレス、WINS サーバアドレスの手動設定が可能です。指定するアドレスがある場合は、以下手順で設定を行ってください。出荷時は全て「自動取得」が初期設定となります。

1. プロファイル新規作成画面、もしくはプロファイル編集画面で「詳細設定」をクリックします。
2. プロファイルの詳細設定を行います。



### 4.4.3 接続方式

WM320 はモデムを利用したダイヤルアップ(RAS)ならびに、ネットワークアダプター経由の接続(NDIS)が可能です。本画面より接続方法を選択してください。出荷時は NDIS が初期設定となります。



## 4.5 接続・切断

1. 本製品をパソコンの USB ポートに接続します。
2. 自動的に WM320 Data Connection Manager が起動します。
3. ネットワークへ接続する為のプロファイルを作成します。
4. メイン画面で「接続」ボタンをクリックします。ネットワークへの接続が開始されます。



5. ネットワークへの接続が完了するとボタンが「切断」になり、接続時間、送受信データ量が表示されます。



6. メイン画面で「切断」ボタンをクリックします。ネットワークへの切断が開始されます。
7. ネットワークへの切断が完了するとボタンが「接続」に変わります。

## 4.6 PIN 管理

USIM カードは「PIN1 認証有効」「PIN1 認証無効」「PIN1 変更」の設定ができます。

PIN とは第三者による不正利用を防ぐための 4～8 桁のコードです。「PIN1 認証有効」に設定された場合、本製品をパソコンに接続する際に PIN コードの入力が必要となります。

お買い上げ時の設定については、購入先の事業者にお問い合わせください。

- PIN1 コードの初期値は「0000」です。
- PIN1 コードは他人に知られないように十分注意してください。
- PIN1 コードには「生年月日」「電話番号の一部」など分かりやすい番号は避けてください。
- PIN1 コードの入力を 3 回間違えた場合、PIN ロック解除コードが必要となります。詳しくはご契約先の事業者にお問い合わせください。

### 4.6.1 PIN 有効

1. PIN 管理画面で「PIN 有効/無効」を選択します。
2. 「有効」を選択します。



3. USIM カードに設定している PIN1 コードを入力します。PIN1 認証が有効となります。

- PIN1 認証が有効に設定された場合、本製品をパソコンに接続する際に PIN1 コードの入力が必要です。PIN1 コードを忘れないようにご注意ください。

## 4.6.2 PIN 無効

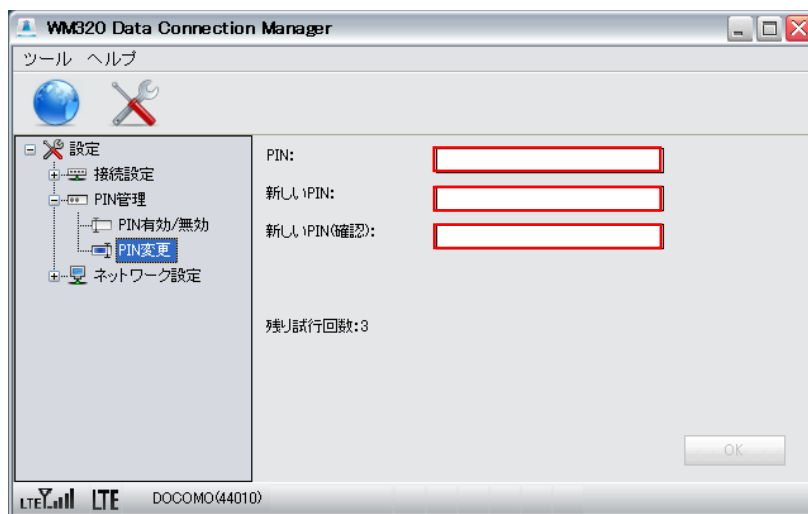
1. PIN 管理画面で「PIN 有効/無効」を選択します。
2. 「無効」を選択します。



3. USIM カードに設定している PIN1 コードを入力します。PIN1 認証が無効となります。

## 4.6.3 PIN 変更

1. PIN 管理画面で「PIN 変更」を選択します。



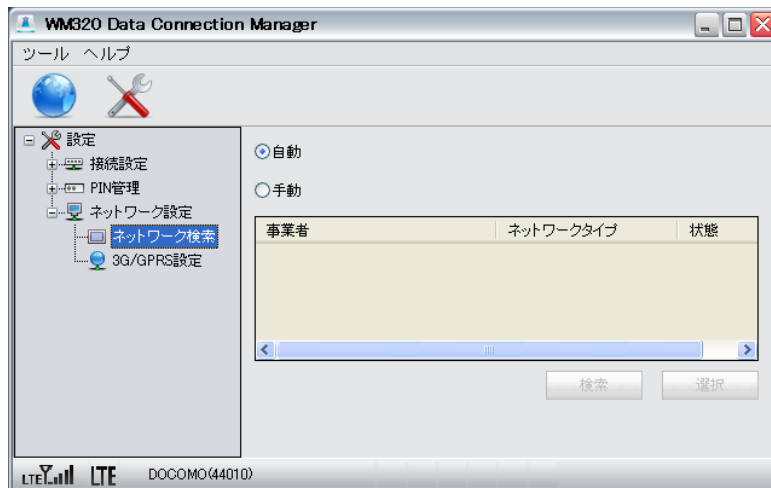
2. 現在設定している PIN1 コードを「PIN」に入力します。
3. 変更する PIN1 コードを「新しい PIN」に入力します。
4. 「新しい PIN(確認)」に「新しい PIN」で入力した PIN1 コードを入力します。
5. 「OK」をクリックします。

## 4.7 ネットワーク設定

お買い上げ時は利用するネットワーク(事業者)を自動的に検索して接続します。海外でご利用の場合など、接続するネットワークを手動で選択する場合は、以降の設定を行ってください。

### 4.7.1 ネットワーク検索

1. ネットワーク設定画面で「ネットワーク検索」を選択します。



2. 「手動」を選択します。
3. 「検索」をクリックします。  
ネットワークを検索した後、検索されたネットワークが表示されます。
4. 表示されたネットワークを選択します。
5. 「選択」をクリックします。

- ・ 海外で「手動」に設定した場合で、その後国内で使用する場合は「自動」設定に戻してください。
- ・ 海外で「自動」に設定している場合、利用中のネットワークがサービス外になると自動的に別のネットワークに接続します。
- ・ 手動設定後にネットワークへ接続できない場合、再度「自動」に切り替えたのち「手動」設定を行ってください。

## 4.7.2 3G/GPRS 設定

ネットワークを検索する際に、優先的に検索するネットワークを指定することができます。

1. ネットワーク設定画面で「3G/GPRS 設定」を選択します。



2. 優先的に検索する通信方式を選択します。

- ・ LTE の国際ローミングには対応していません。
- ・ 海外で「GPRS/EDGE」に設定している場合、その後国内で使用する場合は「自動」設定に戻してください。
- ・ 「UMTS/HSPA」を選択した場合、LTE 対応エリアであっても LTE 通信はできなくなります。

## 5. 付録

### 5.1 主な仕様

|          |  |
|----------|--|
| 製品名      | WM320  |
| 外形寸法     | 88.5mm(D) × 30.5mm(W) × 12.9mm(H)  |
| 質量       | 約 30g  |
| インターフェース | USB 2.0  |
| 消費電力     | <p>最大消費電流</p> <p>LTE:約 660mA 以下<br/>3G:約 550mA 以下<br/>GPRS:約 360mA 以下</p> <p>平均消費電流</p> <p>LTE:約 550mA 以下<br/>3G:約 450mA 以下<br/>GPRS:約 300mA 以下</p> <p>待受け消費電流</p> <p>LTE:約 110mA 以下<br/>3G:約 110mA 以下<br/>GPRS:約 110mA 以下</p> |
| 環境条件     | <p>動作温度範囲:-10~55°C</p> <p>動作湿度範囲:0~85%</p>   |
| 対応周波数    | <p>LTE : 2100MHz</p> <p>W-CDMA : 800MHz / 2100MHz</p> <p>GSM : 850MHz / 900MHz / 1800MHz / 1900MHz</p>   |
| 通信方式     | <p>LTE</p> <p>W-CDMA / HSDPA(DL 14.4Mbps) / HSUPA(UL 5.76Mbps)</p> <p>GSM / GPRS / EDGE</p> <p>ご利用の通信方式や地域によって、最大通信速度が異なります。</p> <p>また、ベストエフォート方式のため、回線の混雑状況や通信環境などにより、通信速度が低下、もしくは通信できなくなる場合があります。</p>                        |



## 5.2 輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受けます。

本製品及び付属品を輸出及び再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

## 5.3 CE Marking

Model: WM320

Intended use: LTE USB Modem

Complies with the essential requirements of Article 3 of the R&TTE 1999/5/EC Directive, if used for its intended use and that the following standards have been applied:

**1. Health (Article 3.1(a) of the R&TTE Directive)**

- EN 62311 :2008/EN 62209-2:2010

**2. Safety (Article 3.1(a) of the R&TTE Directive)**

Applied Standard(s):

- EN 60950-1:2006+A11:2009

**3. Electromagnetic compatibility (Article 3.1 (b) of the R&TTE Directive)**

Applied Standard(s):

- EN 301 489-1 V1.9.2/-7 V1.3.1/-24 V1.5.1

**4. Radio frequency spectrum usage (Article 3.2 of the R&TTE Directive)**

Applied Standard(s):

- EN 301 511 V9.0.2
- EN 301 908-1 V4.2.1/ -2 V5.2.1

All the reports of the applied standards have the Positive Opinion of Notified Body:

**PHONEIX TESTLAB, Königswinkel 10 D-32825 Blomberg, Germany**

Identification mark: **0700** (Notified Body) **CE**

**CE 0700**

## 5.4 FCC Regulations

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This device has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiated radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

The antenna(s) used for this transmitter must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

## 5.5 RF Exposure Information(SAR)

This device meets the government's requirements for exposure to radio waves.

This device is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government

The exposure standard for wireless devices employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6W/kg. \*Tests for SAR are conducted using standard operating positions accepted by the FCC with the device transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the device while operating can be well below the maximum value. This is because the device is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station, the lower the power output.

The highest SAR value for the model device as reported to the FCC when worn on the body, as described in this user guide, is 1.03 W/kg (Body-worn measurements differ among device models, depending upon available accessories and FCC requirements.)

While there may be differences between the SAR levels of various devices and at various positions, they all meet the government requirement.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model device with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model device is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of [www.fcc.gov/oet/ea/fccid](http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid) after searching on FCC ID: WLPWM320.

For body worn operation, this device has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines for use with an accessory that contains no metal and the positions the handset a minimum of 0.5 cm from the body. Use of other accessories may not ensure compliance with FCC RF exposure guidelines.

## 5.6 WEEE/RoHS Compliance Statement

This symbol on the product or its packaging indicates that this product must not be disposed of with other waste. Instead, it is your responsibility to dispose of your waste equipment by handing it over to a designated collection point for the recycling of waste electrical and electronic equipment. The separate collection and recycling of your waste equipment at the time of disposal will help conserve natural resources and ensure that it is recycled in a manner that protects human health and the environment. For more information about where you can drop off your consumer waste equipment for recycling, please contact your local city recycling office or the dealer from whom you originally purchased the product.



## 5.7 知的財産権

※Windows、Windows 7、Windows Vista、Windows XP、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※Macintosh、Mac、Mac OS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の登録商標です。

※その他、記載の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。